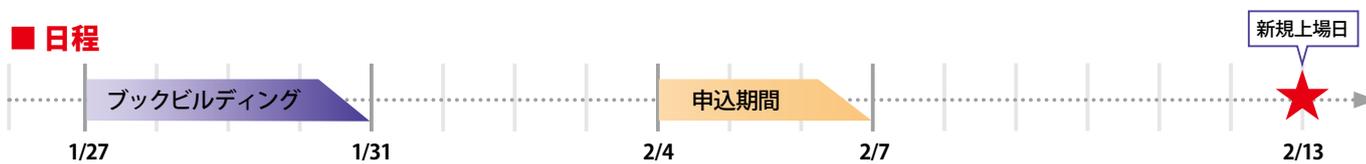


IPO銘柄 アキュセラ・インク (4589・マザーズ/外国株)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹事証券
4589	100 株 (見込み)	公募: 920.0 万株 売出: 0.0 万株 (OA138.0 万株)	1,650 円 ~ 1,800 円 (-)	三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券

■ 日程



眼科領域に特化したバイオベンチャーの外国株

■ 事業内容

眼科領域に特化したバイオベンチャー。米ワシントン州シアトルに本社を置く。中心視力の低下を招く加齢黄斑変性の治療薬として開発中の「VCMエミクススタト塩酸塩」が主力パイプライン。自社開発した視覚サイクルモジュレーター (VCM) の経口製剤の開発に注力しており、その適応症として加齢黄斑変性のほか、糖尿病性網膜症、スターガート病、網膜色素変性症などを対象とした臨床試験、前臨床試験を行っている。

■ 特徴

VCMは複数の網膜疾患の根本的原因に対応するほか、早期介入、広範囲な適用、経口錠剤投与であるなどの特徴を持つ。最も開発が進捗している加齢黄斑変性向けは現在フェーズ2b / 3で、糖尿病性網膜症は前臨床が終了、スターガート病向けなどは前臨床段階にある。「VCMエミクススタト塩酸塩」以外では大塚製薬から付与されたライセンスと提携に基づき開発中の緑内障治療薬「OPA-6566」の臨床試験がフェーズ1 / 2にある。

アナリストコメント

■ 定量分析

14年12月期の税引き前利益予想は4,400万円 (13年12月期実績見込みは6億8,700万円、いずれも1ドル=102円44銭で円換算)。米国に本社を置く企業で通常のIPO企業と同様の見方はできないが、上場の段階で黒字が定着しているバイオベンチャーとして評価はできそうだ。

■ 定性分析

14年最初のIPO案件で株式市場からの注目度は非常に高い。ただ、上場市場はマザーズだが区分は外国株に属し、証券会社によっては、外国株式の口座開設が必要となる。需給状況が芳しくない上に参加者が限られるという、特殊な案件となっている。

■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は約190億円。マザーズ上場案件としては大型案件であり、需給面には大きな不安を抱える。IPOマーケットへの関心は高いままだが、それでも吸収しきれぬか注意したい。(小泉健太)

■ 類似企業

アキュセラ・インク(4589・マザーズ/外国株)	予想PER ー (仮条件上限)
アールテック・ウエノ(4573・JASDAQ)	予想PER35.8倍
オンコリスバイオファーマ(4588・マザーズ)	予想PER ー

■ 引受証券

三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券、SBI証券、大和証券、みずほ証券、SMBC日興証券

業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	税引前 当期純利益 (百万円)	前年比 (%)	当社株主に帰属 する当期純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
12年12月期(実績)	4,755	35.6	699	80.6	114	▲33.7	9.7	—
13年12月期(実績見込み)	5,410	13.8	687	▲1.7	113	▲1.3	9.5	—
14年12月期(会社予想)	6,334	17.1	44	▲93.5	27	▲76.1	0.8	—

※1ドル=102円44銭(2013年12月2日時点の三菱東京UFJ銀行のTTM)で円換算

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	株主資本合計 (百万円)	資本金 (百万円)
11年12月期	11,899,000	4,250	2,134	3,210
12年12月期	11,910,000	4,817	2,623	3,216

※1ドル=102円44銭で円換算

大株主上位(上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	窪田 良	11,620,654	44.00
2	大塚製薬	1,888,011	7.10
3	SBIバイオ・ライフサイエンス投資事業有限責任組合	1,871,250	7.10
4	バイオビジョン・ライフサイエンス・ファンド1号	1,777,778	6.70
5	大塚製薬工場	1,515,152	5.70
6	SBIビービー・メディア投資事業有限責任組合	1,257,252	4.80
7	ソフトバンク・インターネットファンド	1,111,111	4.20
8	SBIブロードバンドファンド1号投資事業有限責任組合	779,502	3.00
9	SBIインキュベーション	374,817	1.40
10	Japan New Technology 2号投資事業組合	272,727	1.00

経営陣

役職	氏名
会長、社長 兼 最高経営責任者、取締役	窪田 良
最高財務責任者、会計責任者 および秘書役	デヴィッド・L・ローランス
人事担当副社長	ヘン・デ・ヤング
取締役	ピーター・A・クレセル
取締役	グレン・Y・サトウ
取締役	マイケル・シュツラー
取締役	ブライアン・オカラガン

モーニングスターIPOレポートの読み方

特 徴

モーニングスター IPO（※1）レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング（※2）が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering)：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

項目説明

■ 事業内容

新規上場企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。

本資料のご留意事項

- ・本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。
- ・本資料は、SBI証券が、モーニングスター株式会社が信頼できると判断して作成したレポートを有償で提供を受けておりますが、その正確性、安全性等について保証するものではありません。本資料に掲載された意見は、作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。
- ・本資料の著作権、知的所有権等一切の権利はモーニングスター株式会社並びに Morningstar.inc に帰属しますので、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

手数料およびリスク等について

国内株式取引の手数料

- ・株式取引にあたっては、所定の手数料がかかります（手数料はお客様の取引コース、取引チャネル、取引プランや売買代金等により異なることから記載しておりません）。詳しくは、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は上場有価証券等書面等をご確認ください。

国内株式取引のリスク情報について

- ・国内株式の取引は、株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- ・信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、時として多額の損失が発生する可能性を有しています。
- ・信用取引の対象となっている株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額が、差入れた委託保証金額を上回るおそれがあります。

留意点

- ・取引コースや商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、ウェブサイト、等をよくご確認ください。または最寄の取扱店までお問い合わせください。
- ・最終的な投資判断は目論見書の内容をご確認ください。目論見書はSBI証券のホームページで入手いただけます。

商号等：株式会社 SBI証券 金融商品取引業者

登録番号：関東財務局長（金商）第 44 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会